

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2020年12月16日から2023年9月14日（当初、2030年12月12日）までです。	
運用方針	信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	新成長株ファンド（隔月決算型・予想分配金提示型）	わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とする新成長株マザーファンドを主な投資対象とします。
	新成長株マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	新成長株ファンド（隔月決算型・予想分配金提示型）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	新成長株マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月の各16日。休業日の場合は翌営業日）決算を行います。ただし、第2計算期末までは、収益の分配は行いません。第3計算期間以降の毎決算時に、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

新成長株ファンド

(隔月決算型・予想分配金提示型)

愛称:グローイング・カバースⅡ

償還運用報告書(全体版)

〈繰上償還〉

第15期（決算日 2023年5月16日）
第16期（決算日 2023年7月18日）
第17期（信託終了日 2023年9月14日）

受益者のみなさまへ

平素は「新成長株ファンド（隔月決算型・予想分配金提示型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2023年9月14日に繰上償還いたしました。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

MYAM

明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		株式組入比率	純資産総額
			税込み分配金	期中騰落率		
第2作成期	(第3期) 2021年 5月17日	円 10,307	円 100	% △ 2.8	% 95.7	百万円 1
	(第4期) 2021年 7月16日	11,092	100	8.6	95.6	1
	(第5期) 2021年 9月16日	11,659	200	6.9	96.3	1
第3作成期	(第6期) 2021年11月16日	11,683	200	1.9	96.3	1
	(第7期) 2022年 1月17日	9,494	0	△18.7	95.2	0.9
	(第8期) 2022年 3月16日	8,458	0	△10.9	96.7	0.8
第4作成期	(第9期) 2022年 5月16日	8,736	0	3.3	96.9	0.8
	(第10期) 2022年 7月19日	8,754	0	0.2	96.7	0.8
	(第11期) 2022年 9月16日	9,093	0	3.9	96.4	0.9
第5作成期	(第12期) 2022年11月16日	9,243	0	1.6	96.9	0.9
	(第13期) 2023年 1月16日	8,616	0	△ 6.8	97.0	0.8
	(第14期) 2023年 3月16日	8,627	0	0.1	96.8	0.8
第6作成期	(第15期) 2023年 5月16日	8,983	0	4.1	96.7	0.8
	(第16期) 2023年 7月18日	9,346	0	4.0	97.9	0.9
	(償還時) (第17期) 2023年 9月14日	(償還価額) 9,265.14	—	△ 0.9	—	0.9

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		株 式 組 入 比 率
			騰	落	
第15期	(期 首)2023年3月16日	8,627	—	—	96.8
	3月末	9,032	4.7	—	96.6
	4月末	8,809	2.1	—	96.8
	(期 末)2023年5月16日	8,983	4.1	—	96.7
第16期	(期 首)2023年5月16日	8,983	—	—	96.7
	5月末	8,818	△1.8	—	96.5
	6月末	9,335	3.9	—	96.6
	(期 末)2023年7月18日	9,346	4.0	—	97.9
第17期	(期 首)2023年7月18日	9,346	—	—	97.9
	7月末	9,364	0.2	—	97.1
	8月末	9,272	△0.8	—	—
	(償還時)2023年9月14日	(償還価額) 9,265.14	△0.9	—	—

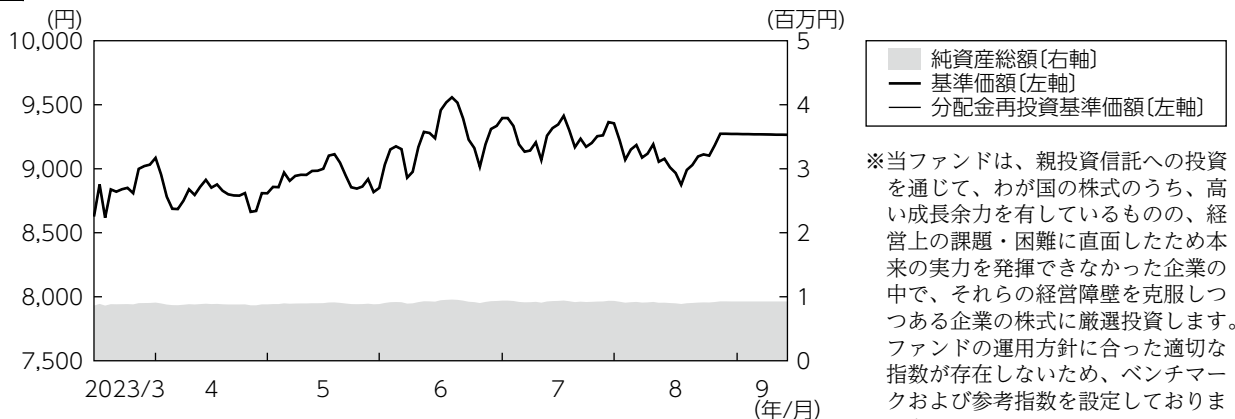
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎ 当作成期の運用経過

■ 基準価額等の推移



※当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

第15期首(2023年3月16日)：8,627円

償還時(2023年9月14日)：9,265円14銭(既払分配金0円)

騰落率：7.4%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて国内株式に投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・メック、シグマクシス・ホールディングス、トランザクションなど比較的高位に組み入れていた銘柄の株価が上昇したこと

(下落要因)

- ・ベネフィット・ワン、リログループなどの株価が下落したこと

■ 投資環境

当作成期の国内株式相場は上昇しました。複数の米国中堅地銀の経営破綻に対する同国金融当局の迅速な対応、米国著名投資家による日本の株式への強気な発言、新型コロナウイルス感染症5類移行後のリオープニングやインバウンド需要の増加に伴う国内消費拡大への期待、円安ドル高による輸出企業の業績改善に対する期待などの好材料が相次ぎ、上昇しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

新成長株ファンド（隔月決算型・予想分配金提示型）

作成期首の運用方針に基づき、新成長株マザーファンドへの投資比率を高位に維持しましたが、償還のため8月下旬にマザーファンドの全売却を行いました。

なお、マザーファンドの運用に関して、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の助言を受けております。

新成長株マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持しました。

当作成期の投資行動としては、助言会社による個別直接面談調査を通じた業績評価等を踏まえ、わが国の株式のうち高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある成長企業を厳選し、組入比率の見直しや売却を行いました。また、高い評価の企業であっても組入比率は一定範囲内に抑制し、分散投資に留意しました。

当作成期はジャパンエレベーターサービスホールディングス、インソースを新規買い付けした一方、西松屋チェーン、バリューHRなどの全売却を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、親投資信託への投資を通じて、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

■ 分配金

- ・収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

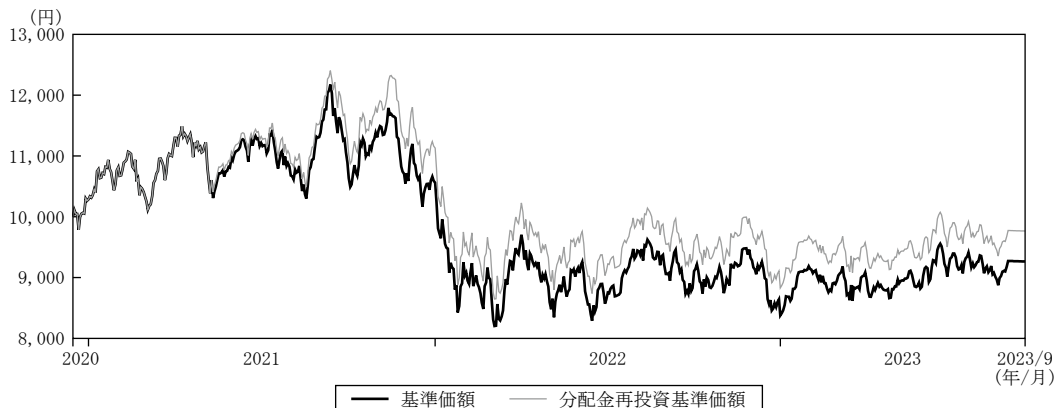
項目	第15期	第16期
	2023年3月17日～ 2023年5月16日	2023年5月17日～ 2023年7月18日
当期分配金	—	—
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,780	1,792

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎設定以来の運用経過 (2020年12月16日～2023年9月14日) 基準価額と収益分配金

基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額は、設定時10,000円で始まり償還日9,265円14銭で終わりました。騰落率（分配金再投資ベース）は△2.3%でした。設定以来お支払した分配金（税込み）は1万口当たり600円でした。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて国内株式へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

（上昇要因）

- ・寿スピリッツ、レーザーテック、トランザクション、Keep Per 技研など比較的高位に組み入れていた銘柄やスノーピークの株価が上昇したこと

（下落要因）

- ・ラクスル、エラン、NITTOKU、また期中に売却したメディアドゥや日本エム・ディ・エムなどの株価が下落したこと

運用概況

新成長株ファンド（隔月決算型・予想分配金提示型）

運用方針に基づき、新成長株マザーファンドの投資比率を高位に維持しました。

なお、マザーファンドの運用に関して、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の助言を受けております。

新成長株マザーファンド

運用方針に基づき、わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持しました。

投資行動としては、助言会社による個別直接面談調査を通じた業績評価等を踏まえ、わが国の株式のうち高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある成長企業を厳選し、組入比率の見直しや売却を行いました。また、高い評価の企業であっても組入比率は一定範囲内に抑制し、分散投資に留意しました。

◎1万口当たりの費用明細

項目	第15期～第17期		項目の概要
	2023年3月17日～2023年9月14日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	85円	0.930%	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は9,105円です。
(投信会社)	(46)	(0.509)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(34)	(0.377)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファン ドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.053	(b)売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手 数料
(株式)	(5)	(0.053)	
(c) その他費用	0	0.001	(c)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	90	0.984	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

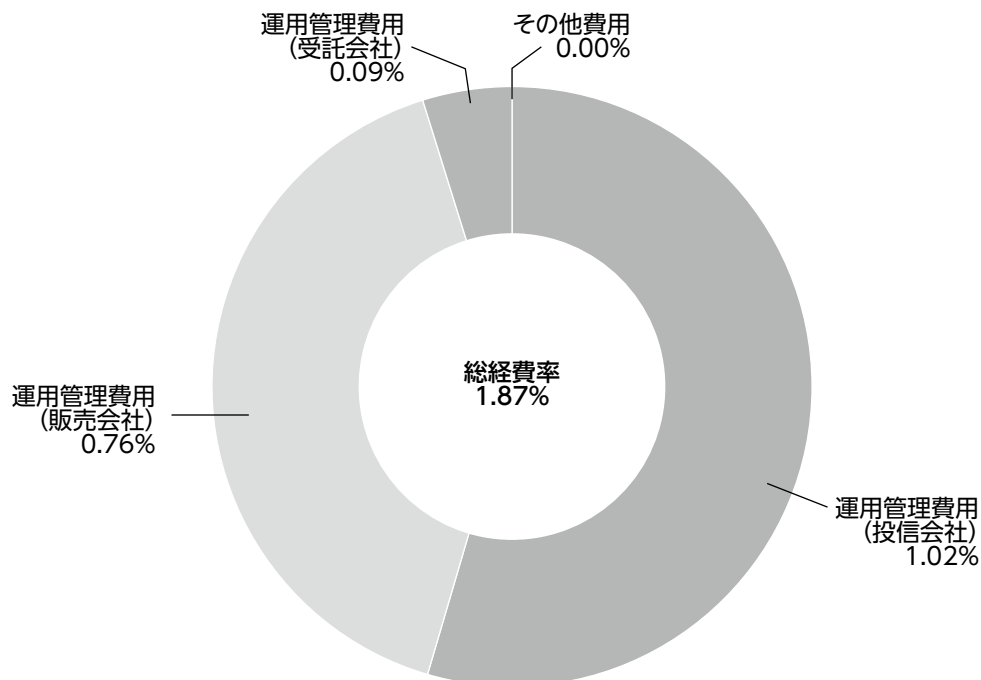
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買及び取引の状況(2023年3月17日～2023年9月14日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 15 期 ～ 第 17 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新 成 長 株 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 —	千円 —	千口 152	千円 931

(注) 単位未満は切り捨て。

◎親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第 15 期 ～ 第 17 期
	新成長株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	22,086,285千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	46,548,412千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.47

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎利害関係人との取引状況等(2023年3月17日～2023年9月14日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎自社による当ファンドの設定・解約状況(2023年3月17日～2023年9月14日)

作成期首残高 (元 本)	当 作 成 期 設 定 元 本	当 作 成 期 解 約 元 本	作成期末残高 (元 本)	取引の理由
円 1,000,000	円 —	円 —	円 1,000,000	当初設定時における取得

◎組入資産明細表

2023年9月14日現在、有価証券等の組み入れはございません。

○親投資信託残高

種 類	第5作成期末	第 6 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新 成 長 株 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 152	千口 —	千円 —

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2023年9月14日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	929	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	929	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準(償還)価額の状況

2023年5月16日現在

2023年7月18日現在

2023年9月14日現在

項 目	第15期末	第16期末	償 還 時
(A) 資 産	901,020円	937,566円	929,224円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,903	6,062	929,224
新成長株マザーファンド(評価額)	894,117	931,504	—
(B) 負 債	2,741	2,924	2,710
未 払 信 託 報 酬	2,741	2,924	2,704
未 払 利 息	—	—	2
そ の 他 未 払 費 用	—	—	4
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	898,279	934,642	926,514
元 本	1,000,000	1,000,000	1,000,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 101,721	△ 65,358	—
償 還 差 損 金	—	—	△ 73,486
(D) 受 益 権 総 口 数	1,000,000口	1,000,000口	1,000,000口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,983円	9,346円	—
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 (C/D)	—	—	9,265円14銭

(注1) 当ファンドの第15期首元本額は1,000,000円、第15～17期中追加設定元本額は0円、第15～17期中一部解約元本額は0円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第15期0.8983円、第16期0.9346円、第17期0.9265円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第15期101,721円、第16期65,358円、償還時73,486円です。

◎損益の状況

		〔自 2023年3月17日 至 2023年5月16日〕	〔自 2023年5月17日 至 2023年7月18日〕	〔自 2023年7月19日 至 2023年9月14日〕
項	目	第15期	第16期	第17期
(A)	配 当 等 収 益	—円	—円	△ 27円
	支 払 利 息	—	—	△ 27
(B)	有 価 証 券 売 買 損 益	38,366	39,287	△ 5,393
	売 買 益	38,366	39,287	—
	売 買 損	—	—	△ 5,393
(C)	信 託 報 酬 等	△ 2,741	△ 2,924	△ 2,708
(D)	当 期 損 益 金 (A + B + C)	35,625	36,363	△ 8,128
(E)	前 期 繰 越 損 益 金	△137,346	△101,721	△65,358
(F)	計 (D + E)	△101,721	△ 65,358	—
(G)	収 益 分 配 金	0	0	—
	次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	△101,721	△ 65,358	—
	償 還 差 損 金 (D + E + G)	—	—	△73,486
	分 配 準 備 積 立 金	178,033	179,202	—
	繰 越 損 益 金	△279,754	△244,560	—

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 第15期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,013円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および分配準備積立金(174,020円)より分配対象収益は178,033円(10,000口当たり1,780円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第16期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,169円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および分配準備積立金(178,033円)より分配対象収益は179,202円(10,000口当たり1,792円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

◎投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年12月16日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年 9月14日		資産総額	929,224円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	2,710円
				純資産総額	926,514円
受益権口数	1,000,000口	1,000,000口	一口	受益権口数	1,000,000口
元本額	1,000,000円	1,000,000円	一円	1万口当たり償還金	9,265.14円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,000,000	1,064,344	10,643	0	0.0000
第2期	1,000,000	1,070,847	10,708	0	0.0000
第3期	1,000,000	1,030,731	10,307	100	1.0000
第4期	1,000,000	1,109,186	11,092	100	1.0000
第5期	1,000,000	1,165,943	11,659	200	2.0000
第6期	1,000,000	1,168,280	11,683	200	2.0000
第7期	1,000,000	949,433	9,494	0	0.0000
第8期	1,000,000	845,762	8,458	0	0.0000
第9期	1,000,000	873,562	8,736	0	0.0000
第10期	1,000,000	875,386	8,754	0	0.0000
第11期	1,000,000	909,278	9,093	0	0.0000
第12期	1,000,000	924,297	9,243	0	0.0000
第13期	1,000,000	861,645	8,616	0	0.0000
第14期	1,000,000	862,654	8,627	0	0.0000
第15期	1,000,000	898,279	8,983	0	0.0000
第16期	1,000,000	934,642	9,346	0	0.0000

◎償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,265円14銭
----------------	-----------

※償還金は、償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

新成長株マザーファンド

運用報告書

第19期

(決算日 2023年4月25日)

「新成長株マザーファンド」は、2023年4月25日に第19期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第19期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。） を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 式 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
	円	%	%	百万円
(第15期) 2019年4月25日	42,758	△ 4.8	98.0	104,842
(第16期) 2020年4月27日	42,344	△ 1.0	96.9	56,591
(第17期) 2021年4月26日	67,603	59.7	97.3	40,401
(第18期) 2022年4月25日	57,487	△15.0	97.4	41,851
(第19期) 2023年4月25日	57,830	0.6	97.1	45,899

(注)当ファンドは、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 式 組 入 比 率
		騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2022年 4月25日	57,487	—	97.4
4月末	58,364	1.5	97.3
5月末	58,731	2.2	97.1
6月末	56,655	△1.4	96.7
7月末	60,542	5.3	96.8
8月末	60,806	5.8	96.8
9月末	57,029	△0.8	97.2
10月末	59,710	3.9	96.9
11月末	61,116	6.3	96.9
12月末	56,395	△1.9	97.3
2023年 1月末	59,603	3.7	97.3
2月末	58,282	1.4	96.9
3月末	59,221	3.0	97.1
(期末)2023年 4月25日	57,830	0.6	97.1

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドは、わが国の株式のうち、高い成長余力を有しているものの経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある企業の株式に厳選投資します。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2022年4月26日～2023年4月25日)

1 基準価額

(1) 基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は期首57,487円で始まり期末57,830円で終わりました。騰落率は+0.6%でした。

基準価額の変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・トランザクション、寿スピリッツ、Keeper 技研、エムアップホールディングス、NITTOKUなど高位に組み入れていた銘柄の株価が上昇したこと

(下落要因)

- ・メンバーズ、アトラエ、ラクーンホールディングス、スノーピークなどの株価が下落したこと

2 運用経過

運用概況

期首の運用方針に基づき、わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持しました。

当期の投資行動としては、助言会社による個別直接面談調査を通じた業績評価等を踏まえ、わが国の株式のうち高い成長余力を有しているものの、経営上の課題・困難に直面したため本来の実力を発揮できなかった企業の中で、それらの経営障壁を克服しつつある成長企業を厳選し、組入比率の見直しや売却を行いました。また、高い評価の企業であっても組入比率は一定範囲内に抑制し、分散投資に留意しました。なお、当ファンドの運用に関して、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の助言を受けております。

当期はフィックスターズ、アンビスホールディングス、ペイカレント・コンサルティングなどを新規買い付けした一方、エスプール、日本エム・ディ・エム、ティーケーピーなどの全売却を行いました。

【組入上位業種】

期首

	業 種	組入比率(%)
1	サービス業	36.3
2	情報・通信業	17.5
3	その他製品	7.7
4	精密機器	6.7
5	小売業	5.8

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

期末

	業 種	組入比率(%)
1	サービス業	32.4
2	情報・通信業	23.8
3	その他製品	8.7
4	機械	5.7
5	小売業	5.1

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

3 今後の運用方針

引き続き、わが国の金融商品取引所上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持します。なお、当ファンドの運用に関しては、エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社の助言を受けます。

米国金利の動向や欧米金融不安など短期的な波乱要因は残るものの、企業業績が正しく評価される環境が整いつつあると考えます。また、先行きを展望すると、ポジティブな材料も見えてきています。DX（デジタル技術の活用による構造変革）推進を目的としたIT投資の拡大や、半導体、電子部品、自動車などの技術革新、インバウンド消費の回復などはその一例でしょう。このような、わが国固有の変化を自らの成長機会として取り込む企業が数多く出てくると想定されます。

今後も助言会社を通じ徹底した調査活動を行いながら、一社一社を丹念に分析し、魅力的な成長企業を組み入れてまいります。

◎1万口当たりの費用明細

項目		当期		項目の概要
		2022年4月26日～2023年4月25日		
		金額	比率	
(a) 売買委託手数料	70円	0.118%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※期中の平均基準価額は58,871円です。	
(株式)	(70)	(0.118)		
(b) その他費用	2	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数	
(その他)	(2)	(0.003)	信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税等	
合計	72	0.121		

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況 (2022年4月26日～2023年4月25日)

○株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 10,277 (1,485)	千円 19,160,032 ()	千株 11,269	千円 15,086,549

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切り捨て。
(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	34,246,581千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	43,683,209千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.78

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎利害関係人との取引状況等 (2022年4月26日～2023年4月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内株式

上場株式

銘	柄	期 首	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
食 料 品 (4.0%)				
寿 ス ビ リ ッ ツ		215	180	1,807,200
化 学 (5.1%)				
ト リ ケ ミ カ ル 研 究 所		385	530	1,186,140
メ ッ ク		320	425	1,076,950
金 属 製 品 (2.7%)				
ト ー カ ロ		825	940	1,185,340
機 械 (5.9%)				
N I T T O K U		370	460	1,210,720
平 田 機 工		—	87	587,250
ロ ー ツ エ		92	81	824,580
電 気 機 器 (4.6%)				
リ オ ン		320	350	689,150
オ プ テ ッ ク ス グ ル ー プ		255	420	828,660
レ ー ザ ー テ ッ ク		36	27.5	554,125
精 密 機 器 (2.9%)				
日 本 エ ム ・ デ ィ ・ エ ム		670	—	—
イ ン タ ー ア ク シ ョ ン		272	—	—
朝 日 イ ン テ ッ ク		480	525	1,284,675
そ の 他 製 品 (8.9%)				
M T G		—	450	623,700
ス ノ ー ピ ー ク		429.4	130	267,410
ト ラ ン ザ ッ シ ョ ン		1,120	1,085	1,790,250
前 田 工 織		360	403	1,299,675
陸 運 業 (ー%)				
A Z - C O M 丸 和 ホ ー ル デ ィ ン グ ス		420	—	—
情 報 ・ 通 信 業 (24.5%)				
ラ ク ー ン ホ ー ル デ ィ ン グ ス		480	250	190,250
エ ム ア ッ プ ホ ー ル デ ィ ン グ ス		1,430	1,110	1,303,140
メ デ ィ ア ド ウ		235	—	—
フ ィ ッ ク ス タ ー ズ		—	740	1,069,300
S H I F T		57	61	1,489,010
G M O ペ イ メ ン ト ゲ ー ト ウ ェ イ		19.5	59	638,380
e B A S E		420	850	577,150
ア バ ン ト グ ル ー プ		490	780	1,106,820
コ ム チ ュ ア		105	—	—
ク ラ ウ ド ワ ー ク ス		—	350	505,750
U b i c o m ホ ー ル デ ィ ン グ ス		60	265	555,970
オ ー ロ		120	365	899,725
ユ ー ザ ー ロ ー カ ル		440	—	—
ウ ォ ン テ ッ ド リ ー		—	72	123,192
ラ ク ス ル		190	395	533,645
ヒ ト ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ズ ・ ホ ー ル デ ィ ン グ ス		260	523.7	828,493
サイ バ ー セ キ ュ リ テ ィ ク ラ ウ ド		85	340	632,400
ビ ジ ャ ン		—	280	461,720
卸 売 業 (1.7%)				
ビ ュ ー テ ィ ガ レ ー ジ		115	197	751,555

銘	柄	期 首	当 期 末	
		株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
小 売 業 (5.3%)				
ジ ン ズ ホ ー ル デ ィ ン グ ス		160	—	—
ネ ク ス テ ー ジ		—	185	448,625
サ ン ワ カ ン パ ニ ー		—	570	482,220
B E E N O S		—	253	495,374
T O K Y O B A S E		822.2	—	—
串 カ ツ 田 中 ホ ー ル デ ィ ン グ ス		295	—	—
西 松 屋 チ ェ ー ン		570	580	936,700
そ の 他 金 融 業 (1.0%)				
プ レ ミ ア グ ル ー プ		—	275	438,900
不 動 産 業 (ー%)				
テ ィ ー ケ ー ビ ー		490	—	—
青 山 財 産 ネ ッ ト ワ ー ク ス		132	—	—
サ ー ビ ス 業 (33.4%)				
メ ン バ ー ズ		466.3	402.7	503,777
エ ス ・ エ ム ・ エ ス		260	350	1,111,250
新 日 本 科 学		—	85	221,085
ベ ネ フ ィ ッ ト ・ ワ ン		125	270	491,130
エ ム ス リ ー		—	170	574,260
ヒ ビ ノ		181.8	181.8	254,701
エ ス プ ー ル		1,205	—	—
ア ド ウ ェ イ ズ		670	—	—
ラ ウ ン ド ワ ン		540	1,870	1,071,510
K e e P e r 技 研		345	130	644,800
イ ト ク ロ		505.2	—	—
ジャ パ ン マ テ リ ア ル		793.4	690	1,444,170
ベ ク ト ル		550	—	—
バ リ ュ ー H R		470	532.8	806,659
シ グ マ ク シ ス ・ ホ ー ル デ ィ ン グ ス		1,076.2	1,170	1,242,540
エ ラ ン		1,030	1,140	1,149,120
ア ト ラ エ		420	480	391,680
ソ ラ ス ト		300.9	—	—
ペ イ カ レ ン ト ・ コ ン サ ル テ ィ ン グ		—	152	758,480
M S - J a p a n		830	940	941,880
ジャ パ ン シ レ バ ー タ ー サ ー ビ ス ホ ー ル デ ィ ン グ ス		—	220	451,440
エ ル ・ テ ィ ー ・ エ ス		175	—	—
ア ン ビ ス ホ ー ル デ ィ ン グ ス		—	257	769,715
L I T A L I C O		233	430	1,024,260
リ ロ グ ル ー プ		350	500	1,028,000
合 計	株 数 ・ 金 額	24,071	24,565	44,564,603
	銘 柄 数 < 比 率 >	57	55	< 97.1% >

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

◎投資信託財産の構成

2023年4月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	44,564,603	96.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,483,003	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	46,047,606	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2023年4月25日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	46,047,606,949
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,128,806,523
株 式 (評価額)	44,564,603,100
未 収 入 金	103,134,326
未 収 配 当 金	251,063,000
(B) 負 債	148,059,230
未 払 金	147,976,155
そ の 他 未 払 費 用	83,075
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	45,899,547,719
元 本	7,937,016,380
次 期 繰 越 損 益 金	37,962,531,339
(D) 受 益 権 総 口 数	7,937,016,380口
1万口当たり基準価額(C/D)	57,830円

◎損益の状況

自 2022年4月26日
至 2023年4月25日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	518,846,667
受 取 配 当 金	518,822,675
受 取 利 息	10
そ の 他 収 益 金	23,982
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 257,219,162
売 買 益	5,522,607,015
売 買 損	△ 5,779,826,177
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,398,319
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	260,229,186
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	34,571,415,342
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	4,186,358,702
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 1,055,471,891
(H) 計 (D+E+F+G)	37,962,531,339
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	37,962,531,339

(注1) 当親ファンドの期首元本額は7,280,248,791円、期中追加設定元本額は871,731,298円、期中一部解約元本額は214,963,709円です。
(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、新成長株ファンド6,976,820,855円、成長応援日本株ファンド960,043,740円、新成長株ファンド(隔月決算型・予想分配金提示型)151,785円です。
(注3) 1口当たり純資産額は5.7830円です。
(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注6) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注7) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

・ 信託期間を延長することにより、投資家のニーズに対応し投資機会を提供するため、信託約款に所定の整備を行いました。(2023年1月25日)